

知多市都市計画マスタープランにおける都市づくりの基本目標と基本方針のうち、都市政策課にかかわる目標・方針を色で囲み、それぞれに対する取組みをまとめました。

平成25年3月

| 知多市都市計画マスタープランにおける都市づくりの基本目標と基本方針  | 都市政策課にかかわる取組み内容   |
|--|---|
| <p><b>【都市機能・土地利用】</b></p> <p>○都市の「顔」となる拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新舞子駅及び巽ヶ丘駅の周辺、岡田地区中央における副次的都市拠点の形成</li><li>・概ね徒歩や自転車の利用圏内における地域生活拠点の形成</li></ul> <p>○暮らしやすさを追求した市街地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・良好な住環境の維持、増進</li><li>・将来フレームに対応した新たな市街地の計画的な確保</li></ul> <p><b>【交通体系】</b></p> <p>○広域交通軸の整備インパクトを受け止める道路網づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・西知多道路の整備促進、インターチェンジの整備効果をいかした道路網の構築</li></ul> <p>○分散形態にある市街地の連携づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・都市拠点と分散する各市街地間の道路アクセスの強化</li><li>・分散する各市街地間の機能連携、相互補完を促す道路網の構築</li></ul> <p>○誰もが移動しやすい交通環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通ネットワークの機能整備や利便性の向上により、誰もが利用しやすい公共交通体系の構築</li><li>・徒歩や自転車交通環境の改善による、自動車に過度に依存しなくても移動しやすい交通体系の構築</li></ul> <p><b>【都市環境】</b></p> <p>○身近に触れ合える公園・緑地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・均衡ある公園・緑地の確保と既存公園の改修等による、利用しやすい公園・緑地の整備、保全、管理の推進</li><li>・身近な自然に触れ合える都市環境の形成</li></ul> | <p>新舞子駅東交差点の改良工事は、平成24年9月に完了しました。交差点隅切り部への歩行者だまりの設置と隅切りの曲線半径を緩和し、歩行者の安全と車両のスムーズな走行の確保に努めました。また、周辺の景観に配慮し、歩道部にはインターロッキングブロック舗装を施し、照明灯1基を設置しました。駅西側は、平成24年度と平成25年度の2か年で、駅東ロータリーのピーク時の渋滞緩和と駅利用者の利便性向上のため、駅前広場を整備します。平成24年度は測量設計を行うとともに、工事ではロータリーを整備し、送迎車両の乗降スペースを設置しました。</p> <p>都市計画マスタープランで新市街地整備検討地区として位置付けている地区において、地権者からの問合せなどに対し、市街地整備の方針を説明し、事業化に対する理解が得られるよう働きかけています。平成24年度は信濃川東部地区と新南地区の2地区において、地権者の代表者により組合設立に向けた動きがありました。今後も地元の意見を聞きながら事業が促進されるよう支援します。</p> <p>知多新知東部土地区画整理事業は、平成24年9月、換地計画認可申請及び変更認可申請に対し県知事から認可を受け、平成25年1月25日に換地処分、翌日に町名変更（新知東町3丁目など）を行いました。換地処分後は、平成25年度内に保留地の所有権移転を完了し、組合が解散できるよう引き続き支援します。<br/>(施工面積：244,900㎡ 事業費：5,250,000千円 事業年度：H15～H25)</p> <p>西知多道路は、愛知県が計画を進める都市計画道路で、東海市内で伊勢湾岸自動車道と名古屋高速湾岸線に、常滑市内で知多横断道路に接続する延長約19kmの自動車専用道路です。平成24年度は都市計画原案の策定後、原案の説明会に先立ち11月16日から11月30日の間、原案の閲覧を行い、12月2日には全体説明会、同月8日、9日には地区別説明会を開催しました。その後は、計画案並びに環境影響評価準備書の策定、平成25年1月25日から2月25日まで縦覧を行い、2月3日には環境影響評価準備書の説明会を開催しました。今後は、平成25年度中の都市計画決定を目指して手続きを進めていきます。</p> <p>知多刈谷線は、名鉄河和線との交差点の鉄道高架化に向け、愛知県と3市町（知多市、東海市、東浦町）で、事業手法、事業費などの検討を進めています。平成24年度は、主に鉄道高架等に関して鉄道事業者と工法、線形等の基本設計における調整を進めました。今後は、基本設計（予備設計）をもとに、地権者との調整を図り、都市計画の変更手続きを経て、事業を進めていきます。</p> <p>生産緑地地区が農地等として適正に保全・管理されているか、毎年1回、生産緑地の現況調査を実施しています。平成24年度は、10月29日から11月1日に市内の全ての生産緑地（146団地、20.8ha）を調査しました。また、主たる従事者の死亡などにより2団地について都市計画変更（平成24年12月25日告示）し、指定の解除をしました。現在は144団地、20.7haとなっています。</p> |